



“Program Update”

シアトル・エンジニアリング・センター 開所式典を開催

米国現地時間 8 月 3 日、米国における MRJ の開発拠点となるシアトル・エンジニアリング・センター(米国ワシントン州シアトル)の開所を祝い開所式典を開催しました。

式典はシアトルの航空博物館“The Museum of Flight”においてワシントン州のジェイ・インスリー知事、在シアトル日本国総領事館の大村昌弘総領事をはじめ約 200 名に上る関係者の方々の出席のもと行われました。

式典では、日本とワシントン州の長きに亘る友好関係において、その新たな歴史の 1 ページを開くものとして歓迎、支援するとの力強いメッセージを皆様から頂戴しました。また新たな友好の門出を祝すとともに MRJ プロジェクトの成功を祈願し、日本の伝統儀式である”鏡開き“を行い大きな拍手をいただきました。

シアトル・エンジニアリング・センターでは今後、パートナーである AeroTEC 社と協業し、約 150 名のメンバーにて適合性証明活動の加速と、来年第 2 四半期から実施予定の米国での飛行試験の支援に全力で対応して行きます。



鏡開きの様子



ジェイ・インスリー州知事によるスピーチの様子

モーゼスレイク(米国飛行試験拠点)メディアツアーを開催

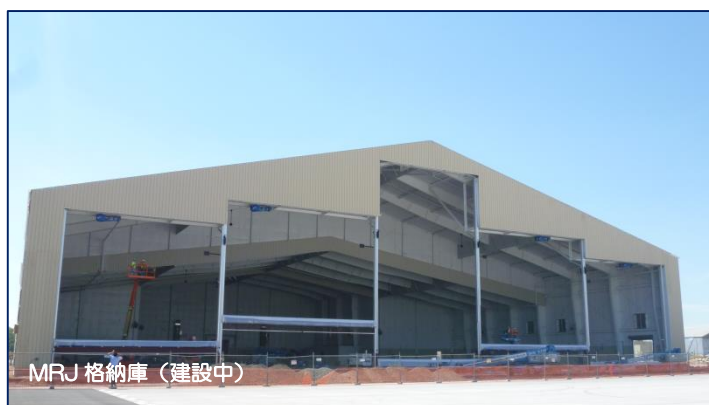
開所式典翌日の 4 日、メディアの方々を対象に米国での飛行試験のベース空港となるグラント・カウンティ国際空港の見学ツアーを行いました。同空港はシアトルから内陸へ車で約 3 時間、ワシントン州グラント郡モーゼスレイクにあります。私たちが同空港を飛行試験拠点として選択した理由の一つとして、年間をとおしての晴天率が 90%以上であることが挙げられますが、ツアー当日もその晴天率の高さを証明するがごとく快晴に恵まれました。

ツアーでは、日本では実施困難な特殊な試験に必要となる 4,000m 級の長い滑走路を実際に走行体感いただくとともに、MRJ3 機を格納可能なハンガー(面積 65,000sqft)、空港の消防設備等を見学いただきました。

モーゼスレイクは山形県米沢市と姉妹都市の関係にあり、これまで数千人に及ぶ日本人学生が当地の農業研修プログラムに参加するなど、数多くの交流が行われており日本と大変親密な関係にあります。MRJ プログラムもこの良いリレーションシップのもと、成功に向けて邁進してまいります。



4,000m 滑走路にて



MRJ 格納庫(建設中)